

東京消防庁

# 北多摩西部消防署

Tokyo Fire Department  
Kitatamaseibu Fire Station



## フロアのご案内

耐火造 地上3階  
建築面積 970㎡ 延べ面積 2,792㎡

これからの社会変化にフレキシブルに対応し、未永く皆様に愛される庁舎に生まれ変わりました。

明るく開放的な新庁舎は、防災拠点として「安全」で、誰もが「安心」して利用できるよう、さまざまな工夫がされています。

### 1階 受付・車庫

エントランスは、車いすでも対応可能。バリアフリーに配慮した設計となりました。



### 2階 事務室

手続きや相談窓口はこちらのフロアへ。総務課、警防課、予防課すべての手続きがこのフロアで完結し、フレキシブルな対応が可能です。

### 3階 防災教室・体育訓練室

災害時には地域の災害時活動拠点として活用します。



### 屋上

屋上に設置した太陽光パネルや、太陽光追尾採光システム、屋上緑化計画により環境に優しい庁舎へ。

## ◆ 新庁舎の特徴

新庁舎は、環境にも配慮。各所に自然エネルギーや省エネ機器を導入しています。また、免震構造を採用するなど、高い免震・耐震性能を備え、災害時の活動拠点としての機能を強化させました。

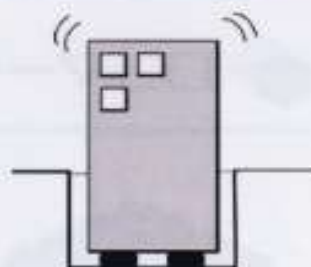
## ◆ フリーアドレス



職員が決められた席を持たない事務室の新しいワークスタイル「フリーアドレス」。様々な職員との横断的なコミュニケーションや良い発想が生まれやすいという利点があり、新庁舎はこのフリーアドレスを採用しています。

## ◆ 免震構造

建物の基礎部分に積層ゴムの装置を設置し、外周部には、水平方向に動ける隙間も確保。防災機関としての機能を継続できるように、揺れが直接建物に伝わらない「免震構造」を採用しています。



## ◆ 太陽光追尾採光システム



陽の当たらない空間へ太陽の光を導く「太陽光追尾採光システム」。高性能光センサーが太陽を自動追尾し、太陽の位置や高度にかかわらず常に安定した光を、陽の当たらない空間に取り込む事が可能です。

## ◆ 雨水ろ過装置

「雨水ろ過装置」は雨水を集水・ろ過する装置で、処理した雨水は、散水・清掃及び水洗便所等の生活雑用水として使用可能です。また、災害時の水源確保にも大変有効です。



## 沿革

昭和43年2月1日

北多摩郡大和町と村山町が共同で  
北多摩西部消防組合を設立

昭和49年4月1日

東京消防庁北多摩西部消防署 新発足

昭和49年5月11日

三ツ木出張所開所

昭和50年4月1日

東大和出張所開所

令和3年3月23日

武蔵村山出張所（旧三ツ木出張所）新庁舎にて事務開始

令和3年11月24日

北多摩西部消防署（本署）新庁舎にて事務開始



開署当時の北多摩西部消防署

## ロゴマークのご紹介



石原裕次郎、渡哲也、館ひろしなど、豪華俳優陣が出演した大人気刑事ドラマ「西部警察」。

北多摩西部消防署のロゴマークの制定にあたり(株)石原プロモーション専務取締役である浅野謙治郎氏へロゴの使用許可の依頼をしたところ、快く承諾を頂きました。

このロゴと共に、今後とも地域の皆さんに愛され、支持される消防署であり続けたいと思います。

## アクセス

〒207-0023

東京都東大和市上北台1-956-1

多摩都市モノレール

上北台駅 徒歩4分

TEL 042(565)0119

FAX 042(564)0119

北多摩西部消防署 HP →

